

勝利アベニューは東から西へ伸びています。この通りは主要都市の通りを横切っています。現在このアベニューはユジノ市の一番美しい所の1つです。しかし、昔この道はゆじなや（南の道）と呼ばれ、アベニューに見えてなかったです。街の他の場所と同じ小さな建物は荒地と混在していました。

1949年10月にユジノサハリンスク市の市執行委員会は、市の展望開発のための最初の一般計画のスケッチを再検討しました。その一般計画によって、それはチェーホフ通りとユジノナ通りのエリアで主要な都心を形成することが予想されました。建設プロジェクトは1959 - 1965年の間設計されました。1965年に、大祖国戦争におけるソビエト人の勝利の20周年を記念して、ユジナヤ通りは勝利通りに改名されました（1965年5月7日の労働者の下院議員の市議会の実行委員会の決定）。しかし、本当に旧ユジナヤ通りはすでに70年代に市内中心部の広い通りになりました。5階建ての住宅街が建てられました。建物のファサードにはまだ時代の精神に対応するモザイクがあります。鎌とハンマーのイメージは日付1917-1967を伴います。レーニンのイメージの下には「レーニンは生きた、レーニンは生きている、レーニンは生きる」という言葉が付いています。時代の変化は、現代と古い建物の建築に反映されています。現代のメガフォン携帯電話会社の支店、およびプリモリエ運送会社の支店などは、ソビエト時代に建てられたサハリン放送会社、薬局第44号、および5階建ての住宅ビルの隣にあります。

1975年にアベニューの上では広場が設定されました。この広場は、サハリン南部とクリュールの解放30周年を記念して勝利広場と呼ばれました。ここではメモリアルコンプレックスが構築されました。鉄筋コンクリート製の台座の上には5メートルの高さのT-34戦車が置いてあります。76mmの大砲と122mmの榴弾砲が戦車の両側の台座に取り付けられています。2011年には、広場再建の問題がメディアで議論されていました。広場は何になるでしょう、時間が教えてくれるでしょう。

広場の隣にはサハリン州の警察署の新しく改装された校舎があります。そして通りに沿って少し低い所では新しい高層ビルが建設されています。ユジノサハリンスクでは、近年、建物や道路の建設と修理が活発に行われています。街の外見は美しくなっています。ここ勝利アベニューでも、美化作業がすでに行われている地域は毎日増加しています。その中はロシア国家貿易経済学部の南サハリン支部に隣接する領土です。以前はソビエト貿易専門学校と呼ばれていました。1955年に彼はアレクサンドロフスク街からユジノサハリンスク市にユジナヤ通りで新しく建てられた教育用建物に移されました。1992年に、貿易大学は中等職業訓練の学部としてロシア国立工科大学の構造に含まれました。現在、ロシア国家貿易経済学部のユジノサハリンスク支店は、消費者市場、ホテルサービス、および観光業の企業のための専門家を養成する複数レベルの教育機関です。

勝利アベニューに位置しているもう1つの教育機関は第2番特別専門小中学校です。この学校の建物は1950年に建てられ、街の第2番学校でした。1959年に、学校は産業訓練を受けたポリテクニックスクールとして知られるようになりました。学校全体の分野に加えて、学生たちはターナープライス盤オペレーター、整備士、看護師、幼稚園の先生などの職業を学び始めました。1968年以来、英語を徹底的に研究している学校です。1988年、校舎は2倍大きくなりました。新しい3階建てのエクステンション、より正確には新しい建物が建てられました。1994年に、古い建物は強い火によってほぼ完全に破壊されました。しかし校舎は1996年に修復され再建されました。2001年に、英語を徹底的に研究している学校は、市立教育機関第2番特別専門小中学校に再編成されました。

プーシキン記念碑はロシアのさまざまな都市に設置されています。1999年、プーシキン詩人の生誕300周年にユジノサハリンスクでは記念広場が配置され、記念碑が建てられました。著者はサハリンの彫刻家チェボタリオフです。ロシアの偉大な詩人の誕生日に、ユジノサハリンスク市民はこの記念碑に集まります。プーシキンの詩、サハリン作家による新作が聞かれ、演劇が開催されています。2001年に大通りに建てられたカトリック教会の建物は、その建築様式、細長い形で注目を集めています。1932年に設立されたユジノサハリンスクカトリック教区が2002年までカラフトの使徒県と呼ばれていたことは興味深いです。サハリン住民の否定的な態度とロシアの当局によるサハリン島の名称の使用により、バチカン市国からユジノサハリンスク使徒県に改名されました。現在、ユジノサハリンスク使徒県はバチカンに直接従属しています。

今日、私たちはテレビとラジオなしで私たちの存在を想像しません。サハリンラジオ委員会は1946年に設立されました。1960年、最初のテレビ番組が放送されました。テレビセンターには180メートルの高さのマストが建てられました。ユジノサハリンスク市だけでなく、モスクワ、ハバロフスク、ウラジオストックや他の都市からも番組を見ることを可能にしたオルビタテレビ局の建設は、サハリンの住民にとって歴史的な出来事でした。1992年、テレビラジオ放送委員会は州テレビラジオ放送会社サハリンに改名されました。1992年、テレビラジオ放送委員会は州テレビラジオ放送会社サハリンに改名されました。サハリン州立テレビラジオ会社の建物の正面には、ムービーカメラを描いたパネルがあり、そのレンズは地球に向けられています。60年代に作られたモザイクは象徴的で今日に関連しています。

ロシアでは、スポーツゲームのファンが集まる場所が出現しました。ここでは、テーブルでそして友好的なコンパで、世界のすべての最も重要なスポーツイベントは完全に見えます。サッカーの試合の放送中、スポーツバーは伝統的にファンでにぎわっています。ユジノサハリンスクで最も人気のある店の1つは、勝利アヴェニューの一番初めに位置するスポーツバーチャスピークです。特に国際大会、オリンピックの通過中に機関に混雑しました。他の都市と同様に、メインストリートには過去10年間に数多くのショップ、カフェ、バーがあります。“日本みたい”日本料理レストランは訪問者なしでは絶対にできません。ユジノサハリンスクで唯一の市営浴場は勝利通りにあります。昔からユジノで住んでいる人によると、それは1957年に囚人によって建てられました。1992年には、清潔な浴室と洗濯場の複合施設に基づいて、市営企業が設立されました。しかし、公営の市営浴場は不採算企業であるため、今日、勝利アヴェニューには1つの浴場しか残っておらず、ついに修理されました。おそらく、欠陥がなければ絶対に完璧になるような通りはありません。ここと西では、長年の間ほとんど変化がありませんでしたが、東部とは少し対照的です。近い将来、この地域も勝利の道の価値のある継続となることを願っています。